

# 羅針盤



## 1月は往ぬる、2月は逃げる、3月は去る

2022年もあるという間に1か月が過ぎました。「1月は往ぬる、2月は逃げる、3月は去る」という言葉にもある通り、新年を迎えて頑張っている中、気付けば2月に入っていました。依然として新型コロナウイルスが猛威を振るっていますが、それに伴いスキー宿泊学習や土日の部活動中止など様々な変更がありました。しかし、子どもたちは今やるべき事を見失わず、一つ一つきちんと取り組もうとする姿に、まもなく2年生になるという自覚の現れを見ることができました。また、先週まで行われていた3年生の三者面談時には、面談や願書記入をしていることに気を配り、お互いに注意し合いながら廊下を歩く姿も見られました。

修了式まで、登校する日数も残り34日です。先日の学級活動では、1年生の残りの期間をどのように過ごすのか話し合いました。1年を通して、多くのことをできるようになってきましたが、すぐ2年生になれるかと言われれば、授業と休み時間のメリハリや言葉遣い、黙動清掃や提出物の期日を守るなど様々な課題が出てきました。中学校は社会に出るための準備期間。今しか学ぶことができないものを級友と一緒に学び、どのクラスも最高の形で修了式を迎えてほしいと思います。



## 2月の予定

日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事
3	木	学年末テスト(3年)	9	日	避難訓練	17	木	木曜日課5時間授業 完全下校 14:50
4	金	⑤メディア講演会	11	金	建樹記念の日	21	月	B日課6時間授業 完全下校 15:50
7	月	C日課6時間授業 完全下校 15:40	14	日	4年卒業式	16	水	三者・三者面談 天皇誕生日 (~20日)
8	火	県立高校出願 ~10日まで	16	水	学年末テスト(1,2年)	28	月	B日課 ⑥委員会 完全下校 15:50

※新型コロナウイルスの感染状況で、予定の変更があることをご承知ください。

## 新型コロナウイルス感染拡大防止のために

先日お手紙でお知らせした通り、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて、以下の期間で部活動が中止になります。

① 1月29日(土)~2月20日(日)の土、日、祝日の部活動

② 1月31日(月)~2月10日(木)の平日の部活動

※ 2月14日、15日はテスト前部活動中止期間になります。

2月は家庭で過ごす時間が長くなりますので、引き続き感染予防に努めた生活を心掛けてほしいと思います。思いっきり体を動かすことができず、ストレスも溜まるかもしれませんが、16日には学年末テストが控えています。体の代わりに頭をたくさん使って、1年生最後のテストに打ち込み、納得のいく結果を出すことを期待します。保護者の皆様には、家庭での過ごし方に加えて、感染拡大防止に向けた以下の内容についてもお話いただくと幸いです。



- 1 放課後や休日などは急な用事がないときは、家で静かに過ごすこと。
- 2 外出する際には、マスクの着用、手洗いうがい、長時間滞在しないなど予防に努めること。
- 3 体調が悪いときには無理をしないこと。また、本人や同居家族でPCR検査等を受ける場合には、必ず学校までご連絡をお願いします。

## スクリの運用が始まります

2月1日より、村内4小中学校でアプリ「スクリレ」のテスト運用が開始されます。このアプリの特徴は、学校からのお知らせや学年通信などの各種通信のデジタル配信や朝の検温及び欠席の連絡をお手持ちのスマートフォンから簡単にできるようになります。テスト運用のため、使い方や機能等でご不便をおかけしますが、不明な点があれば学校までご連絡ください。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今まで通り昇降口で生徒の皆さんの健康状態を確認するため、スクリレで健康状態を入力する際には以下の事にもご注意ください。

- ①朝の検温等の入力は7時30分までをお願いします。
- ②同居家族の症状を連絡事項に「なし」、「あり」で入力してください。
- ③学校以外に行った場所があるときにも連絡事項に入力してください。
- ④検温の入力(報告)ができなかった場合には、今まで通り検温カードに記入の上、昇降口で提出してください。
- ⑤土、日、祝日など学校のない日も入力をお願いします。

スマートフォンによっては、アプリのダウンロードが難しい場合もありますので、「スクリレ」と並行して従来の検温カードや紙媒体でのお手紙の配付を行っていきます。何卒、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



## 進路コーナーその② 受験の種類について

今回は私立、県立高校の受験(県立は受検)の方法を紹介します。

受験(受検)区分	特徴
私立高校	推薦入試 受験校が第1希望で、推薦希望がある。また、学校長が推薦を承認し、高校から提示された基準をクリアしていること。推薦条件には生活態度及び学習状況、欠席等も含まれる。
	単願入試 受験校を第1希望とし、「合格したら必ず入学する」という意思表示をした受験方法。合格したら、すぐに入学手続きが必要になる。併願受験に比べて、優先して合格できる。
	併願入試 私立高校に対して、「他にもいくつかの高校を受験します。入学するかどうかは、それぞれの結果をみたくうえで決めます。」という意思表示を示した上で受験する方法。何校でも受験することが可能。
県立高校	志願できる学校は1校1課程1学科。(ただし、商業や工業に関する学科は、第2希望まで選択できる場合がある。) ※他県隣接地区の県立高校は受検できるが、茨城県立高校と両方を受検することはできない
	共通選抜 ・全校で実施。全員が5教科筆記試験を受ける。 ・選抜資料は、学力検査・調査書・実技検査(音楽科、美術科等)等となる。
	特色選抜 ・実施の有無・応募資格・募集人員等は各学校が決定。 ・文化、芸術、体育、奉仕活動、生徒会活動の分野において優れた資質・実績を有するものを対象として実施。 ・選抜資料は、前日に行った学力検査・調査書・面接・作文・実技検査等となる。